

2023年3月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総額売上高）で開示しております。

〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
(株)高島屋 計※1	+6.1	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+5.9
(株)高島屋 既存店計※2	+7.4	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計※2	+7.2

〔店舗・事業部別 概況〕

		(前年比 単位:%)	
	売上高	入店客数	
大阪店	+15.2	+29.4	(株)高島屋 各店 計
堺店	△0.9	+2.3	(株)高島屋 各店 既存店計※2
京都店※3	+14.3	+6.5	岡山高島屋
泉北店	+0.7	+0.1	岐阜高島屋
日本橋店	+9.1	+18.9	高崎高島屋
横浜店※4	+5.7	△7.0	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計
新宿店	+21.5	+20.2	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計※2
玉川店	+1.7	+1.3	法人事業
大宮店	△6.3	△3.3	クロスメディア事業
柏店※3	+2.3	+2.3	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 2023年1月に営業終了した立川店の前年実績を控除しています。

※3. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

※4. 横浜店の前年比は、2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高を含む前年実績との対比です。

〔商品別売上高〕

		(前年比 単位:%)	
	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	
衣料品	+13.1	+12.8	サービス
紳士服・洋品	+17.1	+16.4	その他
婦人服・洋品	+16.1	+15.8	合計
子供服・洋品	△2.4	△2.2	+6.1
その他衣料品	△3.6	△2.9	+5.9
身のまわり品	+15.0	+14.3	
家庭用品	+3.5	+3.4	
家具	+8.8	+11.0	
家電	+14.6	+15.6	
その他家庭用品	△1.5	△2.4	
食料品	△7.8	△7.6	
生鮮食品	△11.5	△11.7	
菓子	△4.9	△4.6	
惣菜	△10.4	△9.8	
その他	△6.8	△7.3	
食堂・喫茶	+19.4	+19.6	
雑貨	+8.5	+8.6	
化粧品	+17.7	+16.6	
美術・宝飾品・貴金属	△6.1	△5.0	
その他	+27.0	+25.9	

○百貨店は、引き続きラグジュアリーブランドをはじめとする高額品が好調を維持したことに加え、春物衣料雑貨にも動きが見られたことや、免税売上高の押し上げ効果により、前年実績を上回りました。

	前年比	2019年度比
店頭売上高	+9.0%	△5.7%
免税売上高	+276.5%	△39.1%
免税を除いた店頭売上高	+4.6%	△2.5%

○法人事業は前年の大口受注の反動により、前年実績を下回りました。クロスメディア事業は、来店機会増加の反動により前年実績を下回りました。

○4月の店頭売上高は、16日までの累計で前年比+17.3%（2019年比+8.9%）、免税売上高は前年比+239.5%（同△33.7%）、免税を除いた店頭売上高は前年比+11.6%（同+14.6%）で推移しています。